

自費修理が増える中、リサイクルパーツの国内供給体制の改善を

2014 年 1 月 15 日（水）、ANA インターコンチネンタル東京において 2014 年 BS サミット事業協同組合の新年賀詞交換会を開催いたしました。

開会の挨拶で増田副理事長は、アベノミクスにより日本経済は少しずつ回復傾向にあるものの、我々車体整備事業者などの中小・零細企業にはまだまだ行き届いておらず、自ら景気回復しなくてはならない年であると述べる一方で、リーマンショックから 5 年、東日本大震災から 3 年経つ本年は、以前より「2014 年問題」と言われており、車検市場は昨年より約 160 万台減少する年になると説明しました。すでに始まっている自動車アフターマーケットの大競争時代に対応していくために、損害保険会社および協賛会社と強固なアライアンスを結ぶことが非常に重要であり、賀詞交換会を通して有意義な情報交換と懇親を深めたいという言葉で賀詞交換会がスタートしました。

磯部理事長の挨拶では、昨年、EU 諸国、北米、ASEAN 10ヶ国を訪問し視察する中でタイ、インドネシア、ミャンマーなどでは日本車の事故車が山積みになっているという事実には驚いたという話がありました。

ノンフリート等級別自動車保険料率の改定により、保険を使わず自費で修理するケースが増える中、リサイクルパーツを活用した修理が求められ業界紙各紙でもリサイクルパーツは追い風と報じられています。しかし現状では、リサイクルパーツの海外流出が加速しています。事故車が山積みになっている海外にリサイクルパーツが多数流出し、国内でのニーズが高まっているにも関わらず国内にはリサイクルパーツが枯渇している現状を何とかしたい、保険契約者のためにも損害保険会社をはじめとする関係者にこの状況を改めて認識して欲しいと力強い言葉で挨拶を締めくくりました。



約 400 名が参加し、盛大に開催された



和やかな雰囲気での懇親会

その後、政界、官公庁、関係団体などからの来賓紹介が行われ、BS サミット顧問の

自由民主党 自動車議員連盟最高顧問 前衆議院議員 中川秀直先生より来賓代表挨拶を頂戴しました。

続いて参加頂いた提携損害保険会社各社から挨拶の言葉を頂戴し、顧客満足度向上、損害率の改善、次世代自動車の補修への対応をしていくには BS サミットとの連携が重要と、各社から期待の声を多数頂きました。最後に協賛会社各社の紹介が行われ、第一部は盛会裏に終わりました。

第二部の懇親会では黒木専務理事が、昨年の流行語大賞となった 4 つの言葉が車体整備事業者の飛躍のキーワードになると話し、「おもてなし」=お客様の期待値を超えるサービスの提供、「倍返し」=お客様に倍の感謝の気持ちを伝える、「じえじえじえ」=提供する技術・品質・サービスでお客様から驚かされるように、「今でしょ」=よいと思ったことをすぐ実践する、と理由を述べて会場が和む開会の挨拶となりました。

また、公明党 参議院幹事長

党自動車問題議員懇話会幹事長 西田実仁先生、

自由民主党 衆議院議員 中川俊直先生、

国土交通省 自動車局 整備課 課長補佐 今田滋彦様にご挨拶を頂戴し、

経済産業省 製造産業局 自動車課 課長補佐

平松淳様による乾杯の御発声ののち、活発な情報交流が行われ、石井副理事長の締めの挨拶まで非常に活気あふれる情報交換が行われました。



磯部理事長の挨拶



来賓を代表して BS サミット顧問
中川秀直先生のご挨拶